

水着専用脱水機
ハヤブサ

HSD-8-HS/GS



HSD-8-HS

HSD-8-GS

製造元

株式会社ハヤブサ技研

本社 〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1丁目22番1号-204 TEL: 03-5672-5881 FAX: 03-5672-5882
web: <http://www.hayabusa-g.co.jp> mail: info@hayabusa-g.co.jp

株式会社ハヤブサ技研は、本説明書の内容につき、いかなる事実表明または保証もいたしません。
当社は、いかなる場合においても通知または通告する義務なしに、本文書をいかなる時でも改正し、
また、説明書内で説明されている製品に変更を加えるなどの権利を留保します。

© 2014 年 株式会社ハヤブサ技研 無断複写・転載を禁ず

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。この取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意	02-03	水着専用脱水機の使用法	09
水着専用脱水機の各部名称	04	水着専用脱水機の保守管理	10
水着専用脱水機(HS/GS)の設置	05	テスト稼働	11
水着専用脱水機(HS/GS)の設置距離	06	水着専用脱水機(HS/GS)の梱包	11
水着専用脱水機(HS/GS)の外形寸法図	06	トラブルシューティングフローチャート	12
水位センサーの取付方(GS)	07	ハヤブサメンテナンスシステムのご案内	13
貯水槽の水を捨てる手順(GS)	08	仕様/カスタマーサービス	14

安全上のご注意

ご使用・設置の前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みください。お読みになった後は、管理者がいつでも見られる場所に必ず保管して下さい。

設置に当たってはその場所に適用されるすべての法規を厳格に遵守することが重要です。正しい設置のためには、必要に応じて現地の有資格水道業者、電気技術者、請負業者などに相談・確認をしてください。

長く、安全にご使用いただくためには、正しい使用方法をご理解いただくことが大切です。慣れない方を含めたすべての使用者に、正しくご使用していただけますよう、ご指導ください。

本冊子及び製品上のラベルに示した水着用脱水機に関わる注意事項や説明は、安全使用上重要なものです。内容をよく理解し、すべての使用者にも徹底していただきますようお願いいたします。

●表示と意味は、以下のようになっております。

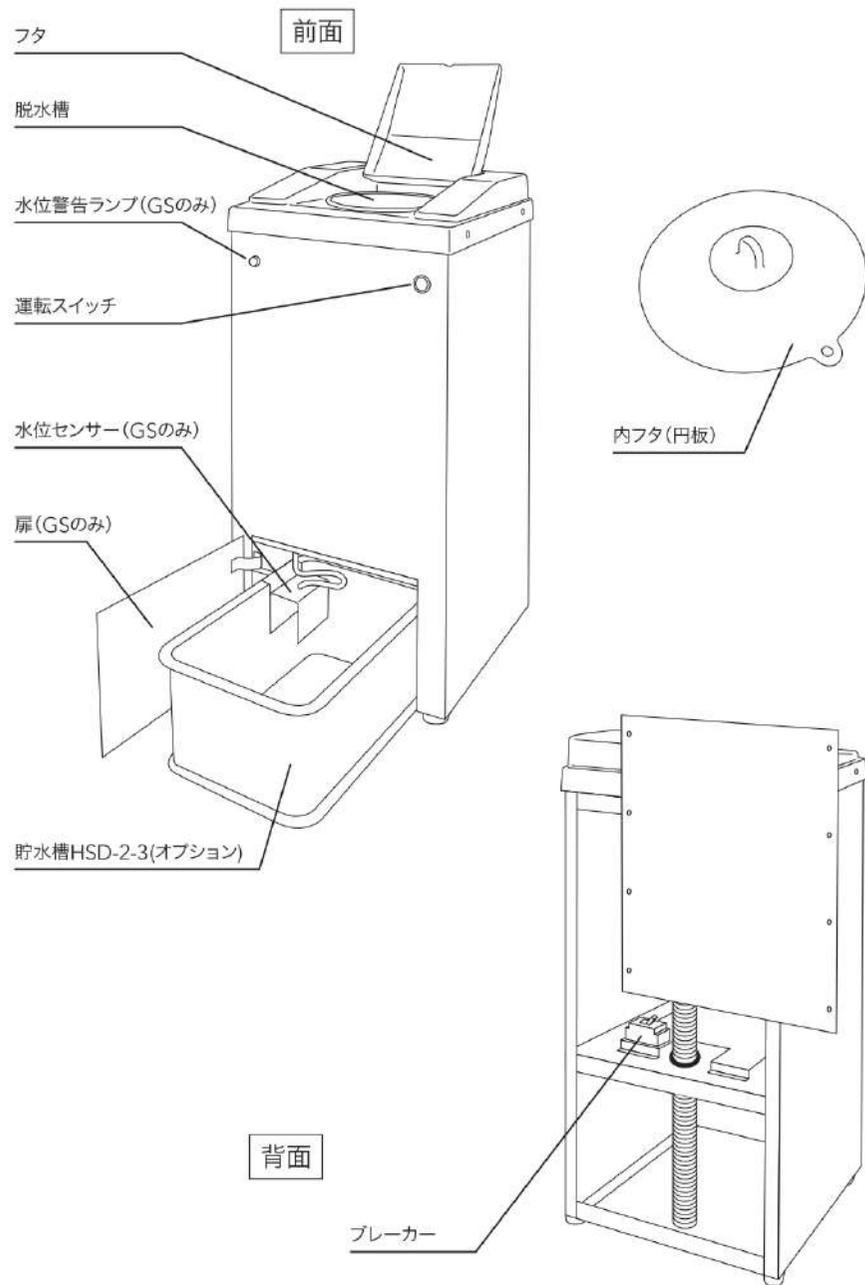
 禁止	禁止を知らせています。表示しているような事をしないで下さい。
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が負傷を辿う可能性が想定される場合、または物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
 強制	ある行為を実行していただくよう指示しています。必ず表示している内容に従って下さい。
 強制	必ずアース線を接続することを指示しています。
 強制	必ず電源プラグをコンセントから抜くことを指示しています。

用途	本脱水機は水着専用の脱水機です。 それ以外の用途には使用しないでください。	設置	本脱水機は構造上問題がない水平な面で、適切な電源および必要に応じた排水設備を得られる場所に設置してください。
電源	電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、本脱水機の電源を確認してください。本体のラベルに記載されている定格電源が設置する現場の電源要件に合っていることを確認の上、接地されたコンセントを単独で使用する 20 アンペア以上の専用回路にプラグを接続してください。プラグは必ず、設置場所で適用されるすべての法規を満たすコンセントに接続してください。変圧器（トランス）や延長コードを使用しないでください。		
故障・不具合	本機器が故障・不具合と思われるときは直ちに使用をやめてください。本冊子のトラブルシューティングフローチャートに従い点検し、それでも復元しないときは脱水機を購入したハヤブサ認定取り扱い店にお問い合わせください。トラブルシューティングフローチャートにある操作以外はしないでください。		

⚠ 警告			
<p>浴場・プールサイド・シャワー・サウナなどの湿度が高くなる所、水がかかる恐れのある所には据え付けない。</p> <p>⊘ 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。</p>	<p>本脱水機は屋内使用専用です。直射日光や風雨にさらされる場所などの高温多湿になる所に据え付けない。</p> <p>⊘ 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。</p>	<p>脱水槽には、ガソリン、灯油、シンナー、ベンジン、アルコール等の引火性のあるものやそれらが付着した物を入れない。</p> <p>⊘ 爆発や火災の恐れがあります。</p>	
<p>幼児・子供に脱水機の操作をさせない、中を覗かせない。</p> <p>⊘ 髪や洋服などが絡むけがの原因になります。</p>	<p>電源コード・電源プラグに傷つけ、加工、引っ張り、ねじり、たばね、無理な曲げ等をしない。</p> <p>⊘ 火災・感電の原因になります。</p>	<p>メーカーに認定された修理技術者以外の人は、本脱水機の分解、修理、改造などは一切行なわない。</p> <p>⊘ 非認定者による作業は、感電・火災・けが・故障の原因になります。</p>	<p>お手入れの際などに、本脱水機各部に水を掛けない。</p> <p>⊘ 漏電・ショート・感電の原因になります。</p>
<p>脱水槽が完全に止まるまでは、絶対にフタを開けない、中の物に手を触れない。</p> <p>⊘ 手に巻きついてけがをする恐れがあります。</p>	<p>脱水槽が停止中でも脱水槽の中以外には絶対に手を入れないでください。水着などが脱水槽外に落ちた場合は必ず管理者に連絡するようにしてください。</p> <p>⊘ けがの原因になります。</p>	<p>水位センサーコードをねじり、曲げ、無理な引っ張りをしてください。傷んだ場合は使用しない。</p> <p>⊘ 故障の原因になります。</p>	
<p>保守管理を実施の際は、電源プラグをコンセントから抜いて実施してください。</p> <p>⊘ 感電やけがをすることがあります。</p>	<p>濡れた手で電源プラグの抜き差しは厳禁です。</p> <p>⊘ 感電やけがをすることがあります。</p>	<p>水着の出し入れ時以外は、開閉フタは常に閉じてください。</p> <p>⚠ 破損による故障、感電の原因になります。</p>	<p>接地された20A以上のコンセントを単独で使用する専用回路からのみ電源を得てください。</p> <p>⚠ 他の機器と併用すると、発熱・火災・感電・故障の原因になります。</p>
<p>電源プラグのほこりなどはプラグを抜いて、定期的に乾いた布で拭く。</p> <p>⊘ 絶縁劣化などによる感電や漏電・火災の原因になります。</p>	<p>長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>⊘ 絶縁劣化などによる感電や漏電・火災の原因になります。</p>	<p>必ずアース線を接続して下さい。</p> <p>⊘ 故障や漏電による感電やけがの恐れがあります。</p>	<p>過剰な水蒸気、塩素、臭素は避ける。</p> <p>⊘ 電気装置や本体の故障、漏電、感電などの恐れがあります。</p>
⚠ 注意			
<p>フタに強い衝撃を与えないでください。</p> <p>⊘ 変形や破損により、けがをする恐れがあります。</p>	<p>運転中は、脱水機のフタを開けない。フタは回転が止まっていることを確認してから開けてください。</p> <p>⊘ 回転部があり、中の物が飛び出しけがをする恐れがあります。</p>	<p>脱水機の上に物を載せたり腰掛けたり、登ったりしないでください。</p> <p>⊘ 変形や破損により、けがをする恐れがあります。</p>	<p>エアゾール(スプレー)が使用されている場所やその近くに設置しないでください。</p> <p>⊘ 故障の原因になります。</p>
<p>本機の使用は水着の脱水に限り、1回につき、水着1枚(脱水前のも1000g)を超える使用は避けてください。</p> <p>⊘ 故障の原因になります。</p>	<p>脱水機は精密機械として扱い、移動、設置などにあたっては丁寧に扱い、ぶつけたり落としたりしないでください。</p> <p>⊘ 破損、故障の原因になります。</p>	<p>脱水機は直接床に設置し、常に縦置きにし、決して横にしない。</p> <p>⚠ 破損、故障の原因になります。</p>	
<p>脱水機と据え付け壁面間の距離は各10cm以上の間隔を空け、常に水平に設置する。</p> <p>⚠ 故障の原因や、転倒しけがをする恐れがあります。</p>	<p>水着は必ず脱水槽の底に入れ、上から内フタで覆うようにします。</p> <p>⚠ 水着の破損や脱水機の故障の原因とならないようにします。</p>	<p>電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持つ。</p> <p>⊘ 電源コードが破損し、火災や感電の原因になり、けがをする恐れがあります。</p>	<p>できるだけ湯気の少ない場所に設置する。</p> <p>⚠ 機械の寿命が極端に短くなります。</p>

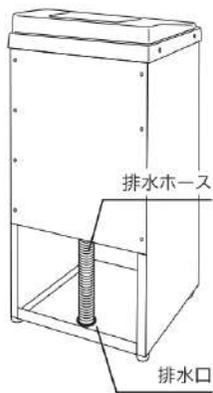
水着専用脱水機の各部名称

HSD-8-HS/GS



設置にあたっては、設置場所に適用される建築、水道、電気を含むすべての法規に厳正に従ってください。移動、設置にあたっては必要に応じて複数の人員で対応してください。

A. 排水設備がある場合/HSD-8-HS

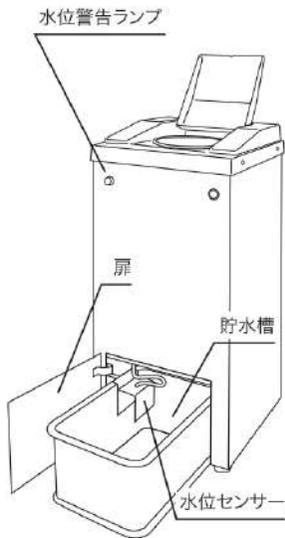


1. 包装材料をすべて取り除く。(P11参照)
2. 脱水機は適切な場所に水平に、そして、壁面と10 cm以上離し、電源コードの長さ2 mの範囲内でコンセントに届くように設置して下さい。(P6参照)また、脱水機の排水ホースが排水口の上に来るように設置します。排水口の上に設置できない場合は、近い場所に設置し、排水ホースの途中で水が溜まらないように注意し、水流が滞らないことを確認してください。
3. 左図のように、ホースを排水口の中に入れます。(a.排水ホースが排水口から簡単に抜けないようにしっかりと入れて下さい。b.排水口と排水ホースとの隙間にクリーンパッキンやパテ等で隙間を無くする事により、排水管の臭気や害虫等の侵入を防ぐ事が出来ます。)
4. 本体のラベルに記載されている定格電源を、接地されたコンセントを単独で使用する専用回路から得てください。電源コードが本体の下部に挟まれていないことを確認してください。
5. アース線(電源コードのアース付)を、コンセントのアース端子又は接地工事を施してある接地端子に接続して下さい。

注意: 本体に接続されている正規のホース以外は使用しないでください。

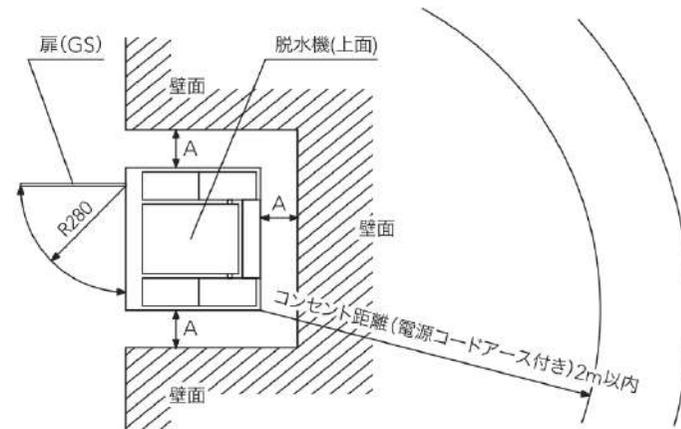
B. 貯水槽式の場合/HSD-8-GS (貯水槽HSD-2-3はオプション)

1. 包装材料をすべて取り除く。(P11参照)
2. 脱水機を平らな所に、水平に設置します。そして、壁面と10cm以上離し、電源コードの長さ2 mの範囲内でコンセントに届くように設置して下さい。(P6参照)
3. 左図にあるように、貯水槽(HSD-2-3)の縁枠に水位センサーを引掛けであることを確認してください。(a.脱水機と貯水槽を同時にお買い上げの場合、水位センサーが既に本体に接続されたものをお届けします。b.HSD-2-3の本体への接続につきましては、本冊子のP7のイラストレーションをご参照下さい。)
4. 貯水槽を本体の中に押し入れ、しっかりと扉を閉めます。
5. 本体のラベルに記載されている定格電源を、接地されたコンセントを単独で使用する専用回路から得てください。電源コードが本体の下部に挟まれていないことを確認してください。
6. アース線(電源コードのアース付)を、コンセントのアース端子又は接地工事を施してある接地端子に接続して下さい。

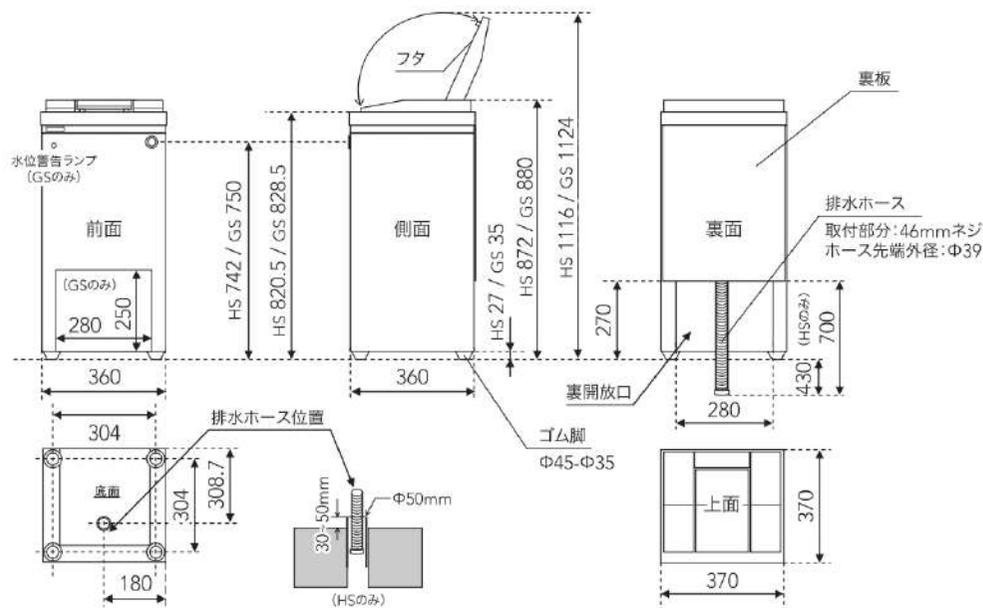


1. 脱水機と壁面間の距離(A)は、10cm以上空けて下さい。
2. 電源コード(3極アース付)の長さ2 mの範囲内でコンセントに届くように脱水機を設置して下さい。
3. 排水口の位置も水着専用脱水機(HSD-8-HS)の外形寸法図をご参照のうえ、排水漏れの無いよう配慮して下さい。

設置場所は右記の設置平面図をご参照下さい。



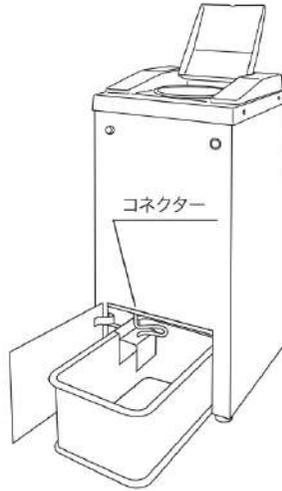
水着専用脱水機の外形寸法図 (HS,GS共通図)



※注
HSD-8-HSの排水ホースは、長さ1mです。
排水口は出来るだけ排水ホース位置の真下に設置してください。(排水ホースのゴミ詰まりの原因になります)

水位センサーの取付方 (GS)

1. コネクタープラグの受け手となるコネクターは、脱水機本体前面の扉を開けた左手前天井にあります。
2. コネクタープラグの上部縁にある矢印(←)が脱水機本体前面側を向くようにコネクタープラグを持ち、下からコネクターに向かって位置を合わせながら、カチッと噛み合うまで押し上げて取り付けます。
3. 水位センサーの金具を貯水槽(ポリタンク)の、向かって左側の縁枠に引っ掛けます。フロート部がタンク内部に入っていることを確かめて下さい。
4. 貯水槽を脱水機の奥に押し込みます。
5. 脱水機前面の扉をきちんと閉めます。



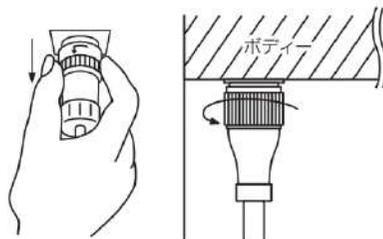
水位センサーの装着および取りはずしの方法

1. 装着方法



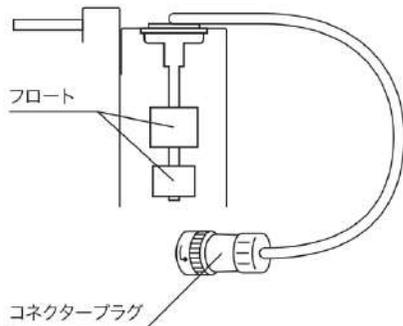
位置を合わせながら、カチッと噛み合う位置まで押し上げる

2. 取り外し方法

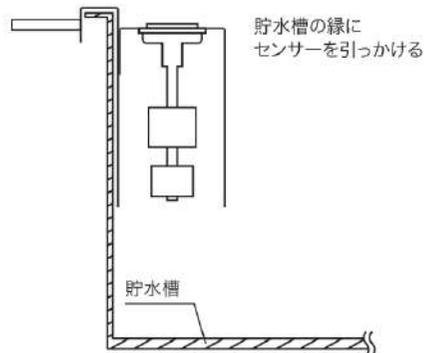


リングを左方向に回して「とまった」所でそのまま下に引くと外すことができます

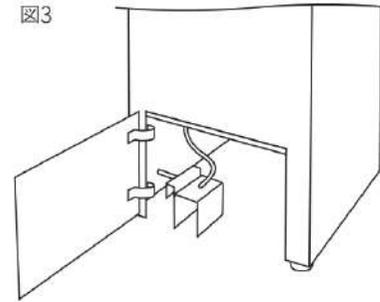
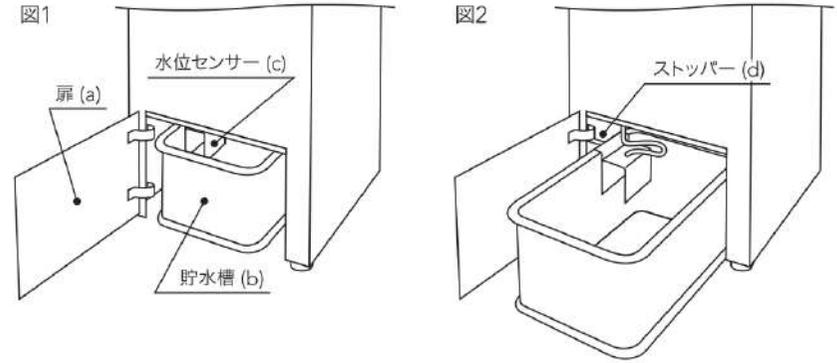
水位センサー単体



貯水槽への水位センサーの取り付け

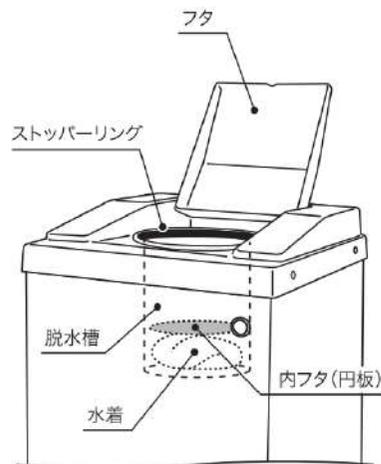


脱水槽の水を捨てる手順 (GS)

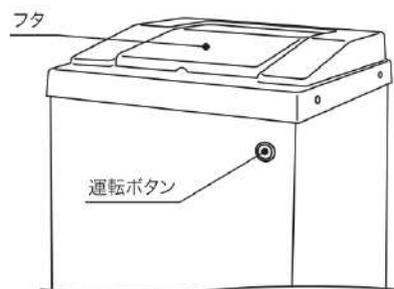


1. 脱水機前面の扉(a)を開けます。(図1)
2. 貯水槽(b)の左後部の縁に掛けてある水位センサー(c)のストッパー(d)が本体左側の縁に当たるまで、貯水槽を真直ぐに引き出して下さい。(図2)
引き過ぎた場合はコネクタープラグコードを傷める原因になりますので、十分注意して下さい。
3. 水位センサーを貯水槽から外します。水位センサーを内部の床面に置き(図3)、貯水槽を取り出します。
注)この時コネクタプラグは抜かないで下さい。
4. 脱水機前面の扉を閉めて下さい。
※注:タンクの水を捨てる間も扉をきちんと閉め、事故の原因とならないようご注意ください。
5. 貯水槽の水を捨てて下さい。
6. 水位センサーを貯水槽に取り付けます。(P8参照)
7. 貯水槽を脱水機の奥に静かに押し込みます。
8. 脱水機の扉をきちんと閉めて下さい。

本脱水機の使用法は下記のとおりです。長い期間、安全にご使用いただくためには、正しくご使用いただくことが大切です。慣れない方を含めたすべての使用者に、正しくご使用いただけますよう、ご指導ください。正しい使用法を書いたポスターもお届けしていますので、目に付く場所に貼り、ご使用ください。



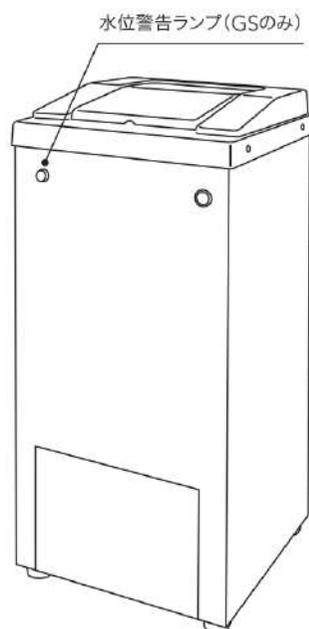
1. 脱水機の上部フタを開けます。
2. 1回の脱水につき、水着1枚(脱水前最大1,000g)の脱水が出来ます。スイムキャップ・タオル・Tシャツ・靴下など、水着以外の物は入れないで下さい。
3. 水着1枚を、すべてのヒモ類やパット等を水着の中に包み、下向きにして脱水槽の底に入れます。
4. 水着がはみ出さないよう脱水槽上部のストッパーリング(黒色のリング)より下に内フタ(円板)を水平に入れてください。



5. 脱水機の上部フタを閉じます。
6. 運転ボタンスイッチを10～20秒間、軽く押しつけて下さい。
7. 運転ボタンスイッチから指を離し、脱水機の上部フタを開き、脱水槽の回転が完全に停止している事を確認してから水着を取り出して下さい。

 警告：脱水槽が完全に止まるまでは、絶対にフタを開けない、中の物に手を触れない。(手に巻きついてけがをすることがあります。)

8. (HSD-8-GS)正面左上部の水位警告ランプが点灯しましたら貯水槽の水を捨ててください。



1. 保守管理

水に含まれる塩素その他の成分等により内槽や脱水槽に水アカが発生する可能性があります。水質により多量に発生することもあります。その他、水泳帽・繊維屑・ヒモ・毛髪・ヘアピン等が脱水機内及び排水ホースに詰まると、機械の故障・漏電・悪臭の原因になります。脱水機を清潔に保ち適切に運転を続けるために定期的に保守管理を行なってください。

2. 定期清掃

- a. 1週間に1度以上、内槽と脱水槽の間など、内部に異物が残っていないかを点検し、あったら除去してください。必要に応じて頻繁に行なってください。
- b. 上部脱水槽の口から一度に500mlを限度として、かつ間隔を空けて水を流し込んでください。水アカ等の発生程度に従って本作業を週に1度以上実施してください。水アカ等が多量に発生する場合は、内槽や脱水槽に傷が付かない硬度のブラシで水アカ等を軽くこすって落とし、水で流してください。水アカが乾燥してこびりつかないように注意して、必要に応じた頻度で定期的に清掃を実施してください。保守作業を実施する際は必ず脱水機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- c. 水を流し込む際は常に排水が滞りなく流れることを確認してください。滞りがある場合は、その原因を取り除き、常に自由な水流が得られるようにしてください。
- d. 本体を湿ったクリーンな布で拭いた後に乾いたクリーンな布で拭いてください。弊社のコロイド洗剤HA007M等の温和な洗浄剤を適宜ご使用いただいても結構です。塩素系洗剤は絶対に使用しないでください。
- e. 本体は常に清潔にし、乾いた状態を保ってください。濡れた場合は、すぐに清潔な乾いた布で拭いてください。

環境衛生上及び機器の清潔維持の立場からも、脱水機が長期にわたり故障がないように、出来るだけ頻繁に上記の保守管理と清掃を励行して下さい。



警告：保守管理を実施の際は、電源プラグをコンセントから抜いてから実施してください。濡れた手で抜き差しは厳禁です。(感電やけがをすることがあります。)



警告：メーカーに認定された修理技術者以外の方は本機の分解、修理、改造などは一切行なわない。(感電・火災・けが・故障の原因になります。)

3. 定期点検

定期的な清掃・点検を続け、脱水機を長期にわたり安全・清潔にご使用ください。

- a. 脱水槽が空の状態、上部フタを閉めスイッチボタンを押すと脱水槽が直ちに回転を始め、ボタンを離れたときおよび、ボタンを押したまま上部フタを開けたときいずれの場合も脱水槽が瞬時に回転を停止することを確認する。
- b. 回転時に異常音がなく、また、大きな振動もない。
- c. 排水ホースの傷みがなく、また、排水漏れがないことを確認する。

ハヤブサ技研は本機器の保守管理、定期清掃、点検などの実施につき一切責任を負いません。貴所にて定期的に実施してください。実施の記録を作成・保管いただくことをお勧めします。

4. その他

漏電ブレーカーが落ちている場合は、裏面の8本のネジを外して裏フタを開け、裏面左手前にあるブレーカースイッチを右方(ON)に起こす事により復元します。復元後は必ず裏フタを元どおりに閉め、裏フタを開けたまま脱水機を使用しないでください。

故障時には本冊子のトラブルシューティングフローチャート(P12)に従い点検し、それでも復元しないときは脱水機を購入したハヤブサ認定取り扱い店もしくは直接ハヤブサ技研にお問い合わせください。トラブルシューティングフローチャートにある操作以外はしないでください。

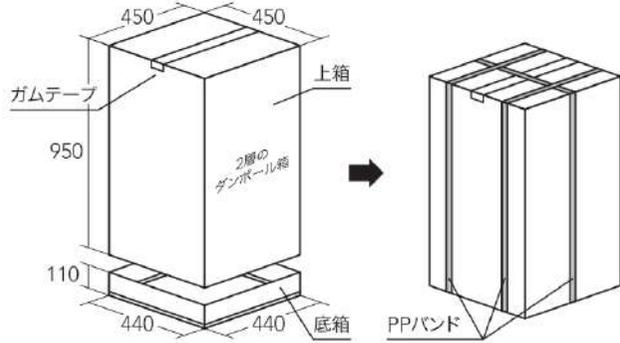
テスト稼働

1. テスト稼働の準備が整ったら、再度、包装材などの取り残しがないことを確認してください。
2. 電源プラグを所定の電源コンセントに差し込む。アース接続がなされていることを確認する。
3. 排水の接続が正しく行われていることを確認する。
4. 上フタが自由に開閉でき、脱水槽が空であることを確認する。
5. 上フタを閉めて、運転ボタンスイッチを10秒ほど押し続ける。
6. 脱水槽がスムーズに回転し、異常な騒音・振動がないことを確認する。
7. 運転ボタンスイッチから指を離すと脱水槽が直ちに止まることを確認する。
8. ポスターに従って濡れた水着を1着(最大1,000g)を脱水槽に入れ、その上から内フタをかぶせる。水着も内フタも脱水槽上部のストッパーリング(黒色のリング)の上にはみ出していないことを確認する。
9. 上フタを閉め、運転ボタンスイッチを10秒ほど押し続け脱水する。
10. 排水が支障なく流れることを確認する。
11. 運転ボタンスイッチから指を離し、脱水槽が完全に止まっていることを確認し、上フタを開けて脱水槽から水着を取り出す。
12. 問題があるときは、本冊子のトラブルシューティングフローチャート(P12)に従って点検する。

水着専用脱水機の梱包

1. 梱包仕様

脱水機1台を緩衝材が付いた底箱に載せ、緩衝材が入った無地段ボール箱で、厚み約10mm(波部分2層)の上箱をかぶせ、下図のようにガムテープ及び3本の梱包用PPバンドで包装全体をしっかりと止める。

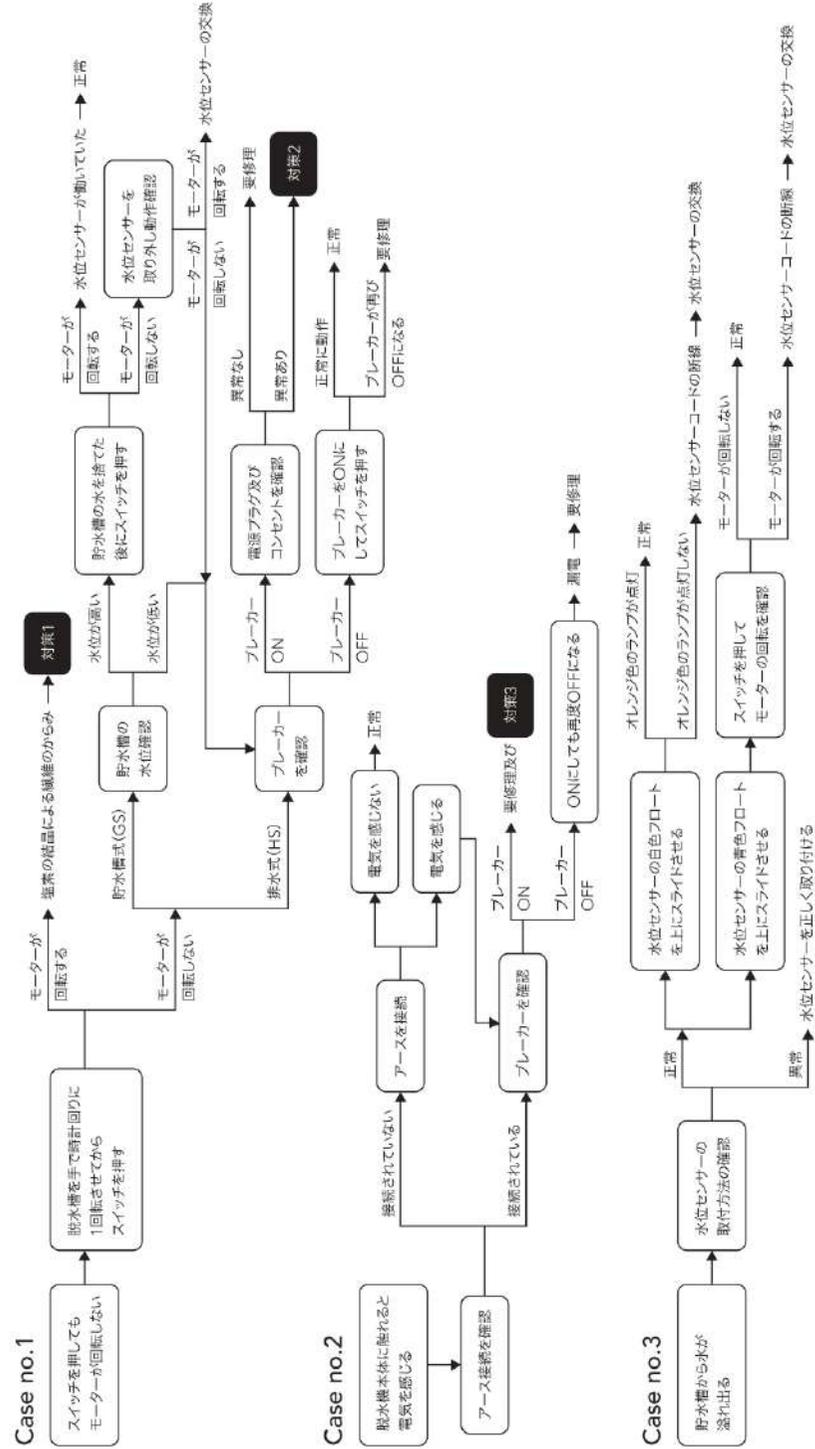


	HSD-8-HS	HSD-8-GS
本体	25kg	25kg
貯水槽(HSD-2-3)	/	1kg
梱包資材他	3kg	3kg
総重量	28kg	29kg

2. 解梱の方法

PPバンドを解き、上箱上部のガムテープはそのままで、上箱を上を持ち上げて外す。

水着専用脱水機(HSD-8)のトラブルシューティングフローチャート



対策1 塩素や水の含有量により水アカが発生します。その他、繊維くず、ヒモ、頭髮、ヘアピン等の脱水槽内及び排水ホースへの詰まりが原因と思われます。週に1回以上、脱水槽上部から1度は500ml程度取り出し、かつ間隔を空けて水を流し込んでください。

対策2 脱水機の電源プラグ側に異常があれば、メーカーに修理を依頼してください。また、コンセント側の異常であれば、電気設備業者に修理を依頼してください。

対策3 高湿度による電機部品の凝露・腐食が原因と推測されます。修理を行っても再度故障になる可能性があります。湿度の高い浴槽やシャワー室の近くを避け、ロッカー・ランなどの比較的湿度の低い場所への移動・設置をお勧めします。

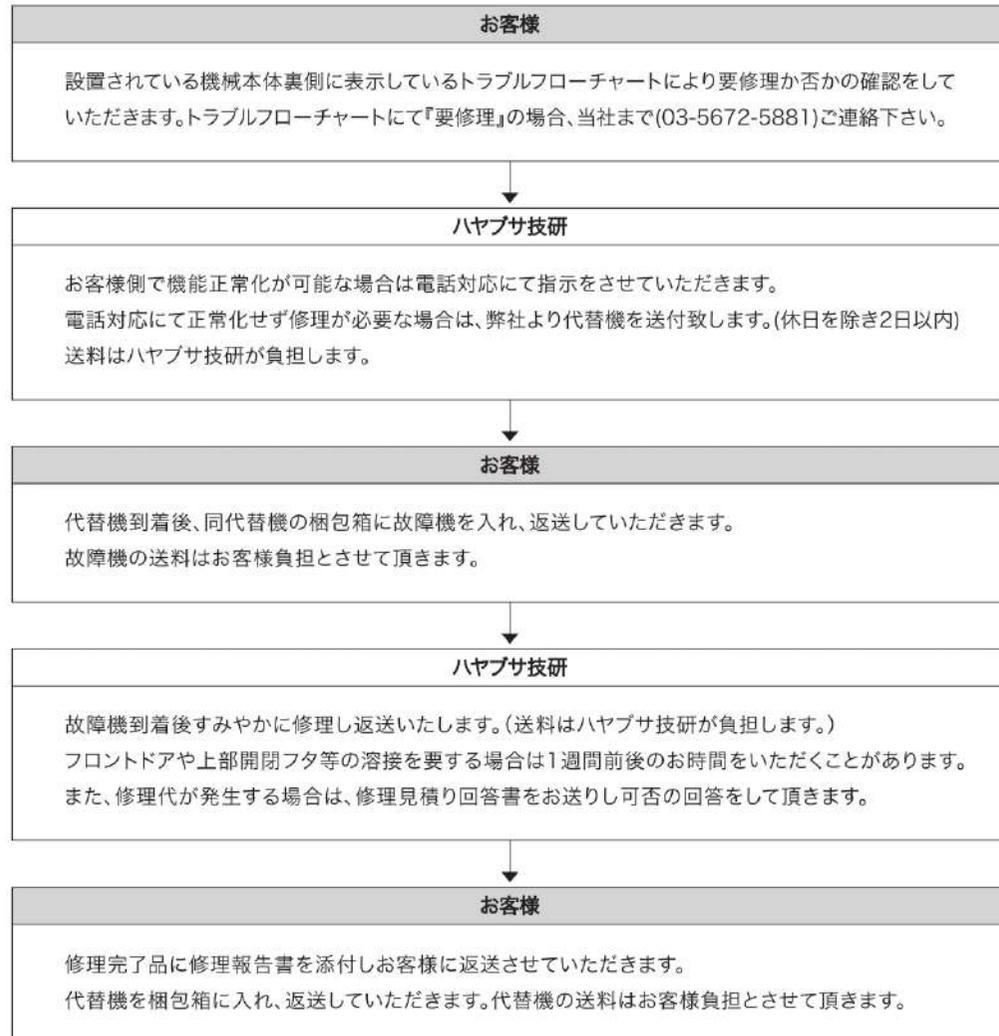
ハヤブサメンテナンスシステムのご案内

製品には2年の保証期間*が付いております。

保証期間中もその後もハヤブサメンテナンスシステムにて対応させていただきます。

※水位センサーを除く本体のみ対応。

※メンテナンスに伴う送料はお客様と弊社の相互負担となります。



代替機及び修理機の送料は発送元相互負担となります。ご了承ください。

仕様

製品名	水着専用脱水機 ハヤブサ
形式	HSD-8-HS/GS
定格電圧	AC 100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	100W
脱水方法	遠心分離方式
本体寸法	幅370 × 奥行370 × 高さ872[HS], 880[GS] (mm)
脱水槽寸法	Φ127 × H170 (mm)
製品重量	25kg (除くHSD-2-3)
製造者	株式会社ハヤブサ技研
日本製	

カスタマーサービス

ハヤブサ脱水機のサービスが必要な時には、脱水機を購入したハヤブサ認定取り扱い店にお問い合わせください。
その際、脱水機の ①購入日 ②製品型式 ③製造番号 もお知らせください。